

テーマ：イエス・キリストの十字架が成し遂げたものは一体何だったのか？

▶アイザック・ワッツ「栄えの主イエスの十字架を仰げば 世の富誉れはちりにぞ等しき 十字架の他には誇りはあらざれ この世のものみな 消えなば消え去れ …ああ主の恵みに報ゆるすべなし ただ身と魂とを捧げてぬかずく(\*ぬかずく「額を地面につけるようにひれ伏すこと」)」

※1 コリント 1:23「しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。」

※ガラテヤ 6:14「しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません」

## ○十字架上での“最高の交換”：四つの要素

### 1. \_\_\_\_\_ 神様(21a)

※ローマ 3:10-12「義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行う人はいない。ひとりもない。」

※1 コリント 2:14「生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。…」

※エペソ 2:3「私たちもみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

※イザヤ 59:9-12, 15-16「それゆえ、公義は私たちから遠ざかり、義は私たちに追いつかない。私たちは光を待ち望んだが、見よ、やみ。輝きを待ち望んだが、暗やみの中を歩む。私たちは盲人のように壁を手さぐりし、目のない者のように手さぐりする。真昼でも、たそがれ時のようにつまずき、やみの中にいる死人のようだ。私たちはみな、熊のようにほえ、鳩のようにうめきにうめく。公義を待ち望むが、それはなく、救いを待ち望むが、それは私たちから遠く離れている。それは、私たちがあなたの御前で多くのそむきの罪を犯し、私たちの罪が、私たちに不利な証言をするからです。…」「…主はこれを見て、公義のないのに心を痛められた。主は人のいないのを見、とりなす者のいないのに驚かれた。そこで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を、ご自分のささえとされた。」

※イザヤ 53:10「しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。」

※ヨハネ 3:16「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。」

※エペソ 2:4-5「しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、――あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです――」

### 2. \_\_\_\_\_ 救い主(21b)

※ヨハネ 8:46「あなたがたのうちだれか、わたしに罪があると責める者がいますか。…」

※1 ヨハネ 3:5「キリストが現れたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。キリストには何の罪もありません。」

※1 ペテロ 2:22「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。」

※ヘブル 4:15「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。」

※ヨハネ 18:38「ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認めません。」

※ルカ 23:47「この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、「ほんとうに、この人は正しい方であった」と言った。」

※マタイ 27:4「私は罪を犯した。罪のない人の血を売ったりして」と言った。」

### 3. \_\_\_\_\_ 罪(21c)

「キリストは無罪であり、罪人とされることもあり得ませんでした。しかし、この方は罪人の代わりとなることを望み、まるで罪人のように扱われました。そうです。キリストは罪人として扱われただけでなく、まるで罪そのものであるかのように扱われたのです。これは驚くべき言葉です。罪のない方が罪とされたのです。罪は私たちの偉大な身代わりをひどく苦しめました。キリストはゲッセマネの園でその重みを感じ、『汗が血のしずくのように地に落ちました。』そして、その全ての重圧は、呪われた木に釘付けにされた時に彼の上ののしかかりました。数時間の暗闇の中で、彼は私たちが語ることのできないほど多くのものを耐え忍ばれたのです。」(チャールズ・スポルジョン)

※イザヤ 53:4-6「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」

※1ペテロ 2:24「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。…」

※マタイ 27:46「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか？」

### 4. \_\_\_\_\_ 信仰者(21d)

※マタイ 5:20「まことに、あなたがたに告げます。もしあなたがたの義が、律法学者やパリサイ人の義にまさるものでないなら、あなたがたは決して天の御国に、入れません。」

※マタイ 5:48「だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」

※ピリピ 3:9「キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。」